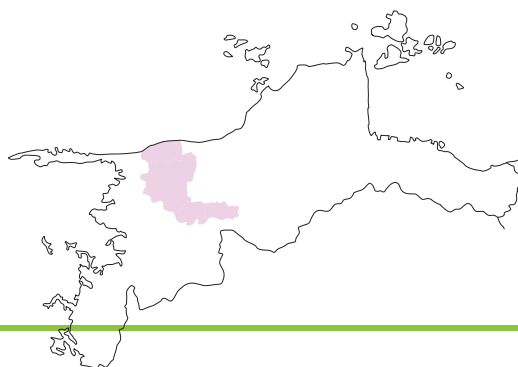


株式会社 愛媛活魚



大洲市

「陸上屋内循環法」によるアワビ 養殖生産プラントシステムの販売

1 事業内容

「陸上屋内循環法」によるアワビ陸上養殖生産プラントシステムを開発し、経営革新の一つとしてアワビ養殖生産を考えている建設業者などへ販売するとともに、システムの活用、メンテナンスを行う。また、アワビ養殖生産に関して、全般に渡ってサポートを展開していく。

2 事業背景

近年、魚介類の乱獲や地球温暖化の影響により、年々、漁獲量が減っており、獲る漁業から生産する漁業への転換が急務となっている。その解決策の一つである海面養殖業も、岬の厳しい自然環境下で行うものであり、重労働を強いられているのが現状である。

そこで当社では、天候・自然災害に左右されず、軽作業で対応可能な「陸上屋内循環法」によるアワビの養殖生産プラントシステムを開発することを決意した。



3 事業、技術、商品の特徴

「陸上屋内循環法」によるアワビ陸上養殖生産プラントシステムを開発し、システムの活用、メンテナンスを行う。また、開発時に培ったアワビ養殖技術に関しても、全般に渡ってサポートを展開していく。

当システムのメリットとしては、①海水汚染（赤潮、雨水、混濁）の影響を受けない、②計画的生産・周年出荷が可能である、③風水波浪で生じる自然災害の影響が少ない、④循環式であり環境に優しく軽作業による管理が可能、などが挙げられる。

4 助成内容及び効果

今回の循環・給水ポンプ、配管、電気系統等の設備導入により、「陸上屋内循環法」式アワビ陸上養殖生産プラントシステムが完成した。すでに建設業者、製材業者等からの引き合いが県内外から多数あり、実際にプラントの販売が成約するなど、順調に推移している。

5 今後の展望

今回開発したアワビ養殖システムは、週に一度、海水の入れ替えを要するものであったが、この入れ替え頻度を減少させるため、高知大学総合研究センターの指導・協力のもと、システムのさらなる研究開発に取り組んだ結果、改良の見通しが立った。現在、市場投入に向けて最終調整中であるが、より訴求力の高い新システムの提供が可能となる見込みである。

今後も「陸上屋内循環法」式アワビ陸上養殖生産プラントシステムによる、アワビの安定出荷を実現していくとともに、安心・安全で美味しい養殖アワビとして広く認知してもらえよう、「信用・信頼」を大切にしてビジネスを展開していく。



Message From Entrepreneur

アワビ陸上養殖の実用化を目指し、長年、試行錯誤を繰り返しながら研究開発に取り組んだ結果、環境に優しく、管理が容易で、収益性の高い養殖技術を確立致しました。今後は新たな事業展開を目指す企業に向け、自信を持って提供すべく準備を進めていきます。

企業概要

〔代表者〕 代表取締役 下岡 一晴
 〔住 所〕 大洲市柚木1055-2
 〔設 立〕 平成21年3月
 〔TEL〕 0893-23-5601
 〔FAX〕 0893-23-5948
 〔URL〕